

SSH特別講義

医師の目から見た科学倫理 藤岡 宏幸 先生

事前アンケート

事後アンケート

1. 興味・関心	2. 知識の多さ	3. 考え・意見	4. 未知の説明	5. 事前予習	1. 興味・関心	2. 知識の多さ	3. 事実と意見	4. 自分の意見	5. 疑問	6. 今後調べよう	7. 今回の講義に関して、意見・感想などを書いて下さい。
3	2	2	3	3	4	5	4	4	3	4	人にはある程度一貫した倫理というものはあるとは思いますが、複雑な状況では、人によって正しいと思うことが変化していくと思う。自分が将来そんな状況に立たされるのかわからないが、少しでも正しいと考えられる選択をできるように、広く学んで視野を広げていき
3	2	2	3	4	4	5	4	5	3	5	「インフォームドコンセント」とは、治療を行うときに患者の同意が必要なものだとは中学校で習いましたが、患者を使っての実験や研究(介入研究)にも、インフォームドコンセントが必要なのは驚きました。介入研究は患者へのメリットしかほとんどないものだと思っていたので、実験のリスクなどを考えてのことなのかなと気づきました。緊急救急救命では3Tが大切だと知りましたが、実際にレッドとイエローとグリーンとの区別がどのような症状が具体的に知りたいです。また、医学的な研究を医療の現場に持ち込む場合臨床実験があると思いますが、そこでは具体的にどのようなことを行われているのを知りたいです。
3	3	4	2	1	4	4	5	5	3	4	患者の状況と医師とのどちらをも踏まえた治療のためにインフォームドコンセントという仕組みがあって、重要だということを知りました。医師の方から医療に関連した科学倫理の講義を聞いて良かったと思います。
4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	2	とても有意義な時間でした。今後重要になってくるのでより詳細に知りたいと感じました。安楽死といった問題は何が正しいと一意的には言えないので良く議論されるべきものだと思います。
3	3	4	5	1	4	5	3	4	4	4	安楽死などについて今まで漠然としたイメージしかありませんでしたが今回の講義を聞いて人命に対する価値観について理解が深まりました。実際に医療の現場で医学に従事されている方の話はとても臨場感があり、説得力がありました。今後課題研究や大学でもしそのような機会があれば今週の講義で知ったことを活かしていきたいと思いました。
4	2	2	2	2	4	5	5	5	4	5	科学研究におけるインフォームドコンセントについてのお話が興味深かったです。医療の現場や研究に直接関わりがなくても倫理について慎重に考えていく必要性を感じました。科学技術が発達するにつれて新たな倫理的課題が生まれ続けると思うので、科学倫理については考え続ける必要があると思いました。
4	1	1	2	3	5	5	4	4	4	4	倫理に対して、初めて知る機会になりました。倫理とは時代背景、民族性、宗教性、国民性によって変わるので、歴史などの知識を身に付けたいと思いました。また、安楽死にも3種類の安楽死があり、嘔吐殺人の例や、倫理審査から見てとても厳格的にされている倫理的な話に関しては以前から興味があったので今回このような機会を与えていただけて非常に良い学びでした。安楽死についてはとても難しい議論だと思いました。ただ延命治療をすることが意思疎通ができない患者などがいて病床が埋まったり費用がかさんだりするのとは重大な問題だと思います。医療の発達によって助けられる範囲が増えたことでそのような人が増えると思います。ますます技術が発展する中でこのような科学倫理はより一層大切になってくると思いました。
5	1	2	3	1	4	4	3	4	3	3	現場の医師の方に倫理を教えてもらうという貴重な機会を頂き、とても参考になりました。インフォームドコンセントは保健で習ったことがあったが、今日は特に詳しい内容が聞けてとても良かったです。またInformed Assentという言葉もあるのは知らなかったのもとても興味深かったです。「安楽死」はとても難しい問題であり、慎重に考えないといけないと思いました。本日は本当にありがとうございます。
3	2	2	1	1	3	3	2	2	3	4	「倫理」の考え方について良く知ることができた。自分の思っていたよりも「死」に対する価値観や向き合い方というのは難しいと感じた。医者だけでなく研究者も生と死を技術によって扱う立場の人間として、どのような考え方が必要だったのかということを知れた。今後研究者として科学倫理を大切にしなければならない立場になると思っているため、しっかりと今回のことを生かしていきたいと思
3	4	3	2	4	4	4	4	4	3	4	積極的安楽死をどう扱うべきかについての話題はたまに聞き、何故ダメなのか疑問に思っていたので、知れて良かったです。患者自身が望んでいるのかどうか、医師が長年にわたってその患者を見たかどうかも重要であるとわかりました。また、インフォームドコンセントは中学の公民で少し学びましたが、ここまで詳しい規定があると知らず驚きました。
4	3	2	2	1	4	5	4	4	3	3	科学倫理を考える上で時代によって倫理観が変わることは難しい問題だと思った。BC4世紀のヒポクラテスの時代では人を治して生かすことが重要視されていたので、積極的安楽死は否定されていたが、近年では生活の質が重要視されていることで、積極的安楽死に賛成する人もいるのだと思った。
5	3	3	3	3	5	3	4	4	3	4	医学部を目指す私にとって今回の講義はとても有意義に感じました。安楽死がどうかたたくさんの意見があるとは思いますが、自分の研究などが患者さんにとって不利益、不愉快なものにならないように気を付けたいと思いました。今一度厚生労働省のホームページなどで、詳しい倫理規定を確認したいと思います。
3	4	4	4	1	4	4	4	4	3	3	課題研究で私たちのグループは生物実験を行っているため、知りたいことと倫理的な制限を考えたうえで実験等に取り組むようにしたい。医療研究ではほかの科学的研究と比べて人を対象としているので倫理的制限は厳しいと思うが、その中で発展してきた医療

SSH特別講義

医師の目から見た科学倫理 藤岡 宏幸 先生

事前アンケート

事後アンケート

1. 興味・関心	2. 知識の多さ	3. 考え・意見	4. 未知の説明	5. 事前予習	1. 興味・関心	2. 知識の多さ	3. 事実と意見	4. 自分の意見	5. 疑問	6. 今後調べよう	7. 今回の講義に関して、意見・感想などを書いて下さい。
4	1	2	2	2	4	4	3	4	4	4	学問での医学と実際の医療との差があることを知り、医療がただ決まった答えがあるわけではない世界であるということを改めて認識できました。知識だけを持った医者にはならないように心がけます。
5	2	1	2	2	5	4	4	4	2	5	実際に今も働いている現職の医師としての科学倫理に対する考えも聞けて、とても貴重な体験ができたと思いました。今回は医療倫理を重点的に講義して下さい、これから他の分野の倫理も調べてみたいと思えました。
4	3	3	3	3	4	4	3	3	2	3	中学校の3年生の公民で習ったインフォームドコンセントが医療の現場においてどれだけ重要なことなのかを知ることができた。口約束ではなく、医師と患者の相方が書面で同意書を持っていないといけないということが分かった。医療現場だけでなく研究を行う際もインフォームドコンセントが必要だということにも驚きました。
3	2	2	2	3	4	4	3	2	4	4	医学は実学で実生活に役立つことが重要なのかなと感じました。科学倫理の問題は遠いものではなく、選挙などで私たちの暮らしにも大きく関係していると思うので日ごろから考えるようにしたいです。
5	2	3	3	2	4	5	3	4	4	4	今回の講義を聞いて倫理観の時代による違いについて興味をいだいた。医の倫理の歴史のスライドで医師の倫理が紀元前4世紀ヒポクラテスの近いから1948年のジュネーブ宣言と2000年近く時代が飛んでいるのが気になった。この間にも医師の倫理観の基準が変わらなかったことはないだろうからもっと調べてみたいと感じた。
4	3	4	2	3	4	5	5	5	4	4	倫理に対する考え方は人それぞれだと思うけれど患者さんのことを第一に考えるとインフォームドコンセントはとても大切だと感じました。患者さんが抱えている不安や恐怖は計り知れないものだと思うけれど、それを研究者も含めた周囲の人たちが察して支えていくことが必要だと思います。今後は倫理的な問題をどのようにして解決し、研究の発展を目指せるかということをよく考えていきたい
5	4	4	2	5	5	4	5	5	5	5	今日は素晴らしい講義をありがとうございました。私自身研究倫理には興味があったというか、知っておかなければならないものであるという認識が多かったので、自分で調べたり、また、他の先生の講義を受けたりしていましたが、インフォームドコンセントに関する話やまた実践的な倫理についてたくさん知ることができたのは本当にありがたかったです。私も積極的安楽死には反対で心理療法士といった人々の力をふるう所だと思います。また、知らないことを認識することもできたので調べてみようと思います。
3	2	2	2	3	5	5	4	4	4	5	今回の講義で、初めて「科学倫理」に触れました。今まで、理系の研究などには大いに興味がありましたが、その研究を進めるにあたって「科学倫理」を考える機会はほとんどありませんでした。しかし、今回の講義を通して「科学倫理」について正しいことを知り、しっかりと自分の意見をもって、何事も行うことが大切だと感じました。まだまだ「科学倫理」についての内容は、初めてのことばかりなので、これを機に自分の知らないことについても調べるなどして、学んでいきたいです。
3	3	3	3	3	4	4	3	4	4	4	今回の講義を聞いて、インフォームドコンセントや倫理の大切さを学びました。安楽死をさせるということは患者の命を扱うということであり、日本では積極的安楽死は禁止されています。これらのことを適切に対処するには、医療倫理の原則を基に行動することが重要であり、倫理は時代や地域によって変遷するので、理系科目だけではなく幅広く勉強しようと思います。
3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	今回の講義を聞いて倫理観について学ぶことができました。実際に医療の現場で働く方に詳しく話を聞くことができる貴重な機会でした。インフォームドコンセントの大切さや安楽死に対する考え方などたくさんを学ぶことができました。これから社会に出て働くときには、今回の経験を活かしていきたいなと思いました。
3	2	2	2	2	3	4	3	3	3	3	私が知らなかった様々なことを知れました。インフォームドコンセント等患者やその家族の意見を尊重することの大切さがわかりました。説明の際にも具体例を挙げて話して下さっていたのでより理解しやすかったです。また、タグのシステムや人の倫理観の変化など、過去の事例と比較できるスライドでした。安楽死の問題はとても難しいのもので司法の場においても判決が違っていたりするので、今日の講義内容を参考にまた考えてみようかなと思います。今後の研究活動において、とても有益な情報をたくさん知れました。
4	3	3	2	3	4	3	5	4	4	5	質問というほどではないが気になったこととして、通常診療行為でのデータの仕様はオプトアウトが良いのかという点が挙げられる。インフォームドコンセントは事前に承諾を得るという点でオプトインに近い形式であるだろうが、これだけではオプトアウトであるのだなと気になった。研究としてのデータの収集には事前の承諾は必要というのに対して、診療時のデータの2次利用にはそれが必要ないということには違和感を覚える。素晴らしい講義をありがとうございました。

SSH特別講義

医師の目から見た科学倫理 藤岡 宏幸 先生

事前アンケート

事後アンケート

1. 興味・関心	2. 知識の多さ	3. 考え・意見	4. 未知の説明	5. 事前予習	1. 興味・関心	2. 知識の多さ	3. 事実と意見	4. 自分の意見	5. 疑問	6. 今後調べよう	7. 今回の講義に関して、意見・感想などを書いて下さい。
4	2	3	2	1	5	4	3	4	2	3	人間に当てはまる倫理がそのまま他の生物に当てはまればとても優しい世の中になるだろうと思った。ただ、他の生物が何を考えているかなど、対話ができないから動物を研究に使っていいということになっているのだと思った。動物にも意思があるはずだから研究に使うときには感謝して使いたい。インフォームドコンセントは医学だけでなく日常生活でも大切な考え方だと思った。他人の嫌がることはしない、勝手に物をとらないなど、行動する前に相手のことを考えようと思いました。
5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	災害時の治療についての話になるほどと思いました。症状の重大さに応じて優先度を定めて治療に当たることは、より多くの人を命を救う工夫の一つだと感じました。また、寿命を引き延ばすことより、よりよく生きれる時間を加えていくという考え方に共感しました。人の助けを借りても自分で自分のことを理解できて、支えにありがとうと伝えられる状態ですっと思いと思いました。
5	2	4	2	1	5	5	4	4	4	4	講義で最も印象深かったのは、倫理は時代によって変わるということです。確かに生きている時期が違えば人々の価値観も異なり、倫理観に差が生じることはあたりまえだと思います。時代に合わせた適切な倫理観を身に付けることが大切だと感じました。また、インフォームドコンセントについても心に残っています。中学校の社会の授業でその単語と簡単な意味は学習していたのですが、これ程詳しく、また深くは知らなかったため、非常に興味深かったです。これから私も研究を進めていくうえで重要視したい視点だと思いました。本日はお忙しいなか素晴らしい講義をありがとうございました。
5	3	4	4	3	5	4	5	4	4	5	倫理における細かい用語について実際の例を交えながら説明していたのでとてもわかりやすかった。また、個人的には積極的安楽死に賛成しているけれどそれに反対している医師の方の意見を聞けたので今後考えを深める上で大いに参考になった。
3	3	3	3	3	4	5	4	3	4	3	講義を聞いて自分がどのように倫理のことを考えればよいかがよく分かった。人の命に関わる仕事をしている医師の言葉だけあってとても大切なことを知ることができた。自分は医師になる気はないが、他の研究などをするにあたって倫理というのはとても必要になってくると思うので心にとめておこうと思った。
4	1	1	1	1	4	5	3	2	2	3	初めは科学倫理と聞いてどんな内容か全く想像できなかったが、インフォームドコンセントや安楽死についての話を聞いて、意外と身近な内容だった。安楽死については、各国で対応が異なり、また、それぞれの人で考えがかなり違ったりするので、これからも注意深く考えていく必要があると思う。そういった問題に対して、しっかりと自分の意見を持てるようになるためにも、勉強は
4	1	2	2	3	5	5	5	5	3	4	医師という職業に関わらず、どんな職業でもただ与えられた仕事を義務的にやるのではなくその時々に応じて人倫にのっとったことをすることが大切だということを知った。これから課題研究などで生き物を扱う機会なども増えると思うけど、今日学んだことを生かして
3	3	3	3	3	4	5	5	4	3	4	安楽死は殺人であると初めて知った。阪神淡路大震災をきっかけにトリアージタッグが導入されたということに驚いた。これからの公共の授業でも倫理観を養いたいと思った。
4	2	2	2	3	4	4	5	4	4	5	インフォームドコンセントやオプトアウトについては中学生の時公民で軽く習っただけだったので、具体的な例やその重要性を学ぶことができて良かったです。科学倫理については研究者たちの間の問題だと思っていたのですが、治療を受けるかもしれない側として今から気を付けていきたいと思いました。
3	1	2	2	1	4	5	2	2	2	5	安楽死についてあまり知らなかったののでいろいろ知れて良かったです。
0	6	3	2	10	0	0	0	0	0	0	
0	12	13	18	5	0	0	2	4	6	1	
15	12	10	10	15	2	3	10	3	11	8	
12	5	8	3	3	23	16	14	22	16	16	
9	1	2	3	3	11	17	10	7	2	11	
36	36	36	36	36	36	36	36	36	35	36	
3.8	2.5	2.8	2.6	2.6	4.3	4.4	3.9	3.9	3.4	4.0	
					0.4	1.9	1.1	1.1	0.8	1.5	